

# (B)「安心して生活ができる 環境づくり」



第二次作業部会Bでは「安心して生活ができる環境づくり」が課題であった。9月11日から10月25日に至るまで、検討会は全部で6回実施。そのうち一回は施設見学。延べ36人の参加があった。

核家族や高齢化が社会問題となっているが、ホ号棟でも同様なことが見られている。作業部会に集まったメンバーは、子育てはすでに終わっている人が多く、これまでの自分たちの経験話に留まってしまった。そこで、子ども会のメンバーや現在、子育て中の人を誘い出し、作業部会に参加してもらうことにした。早速、親たちが抱えている問題点を聞き出したところ、私たちの課題である「安心して生活ができる環境づくり」の必要性に迫ることが出来た。この時期に問題の一致点がみられたことは大変有意義なことであった。

また、すでに管理組合が実施しているタマリバーの利用で高齢者や子どもが住みよい暮らしへと繋がっているのも、今後共、継続していくことが望まれる。また、子どもの遊び場としてアスレチックなど、木材を使った自然な公園を望む声も聞かれた。

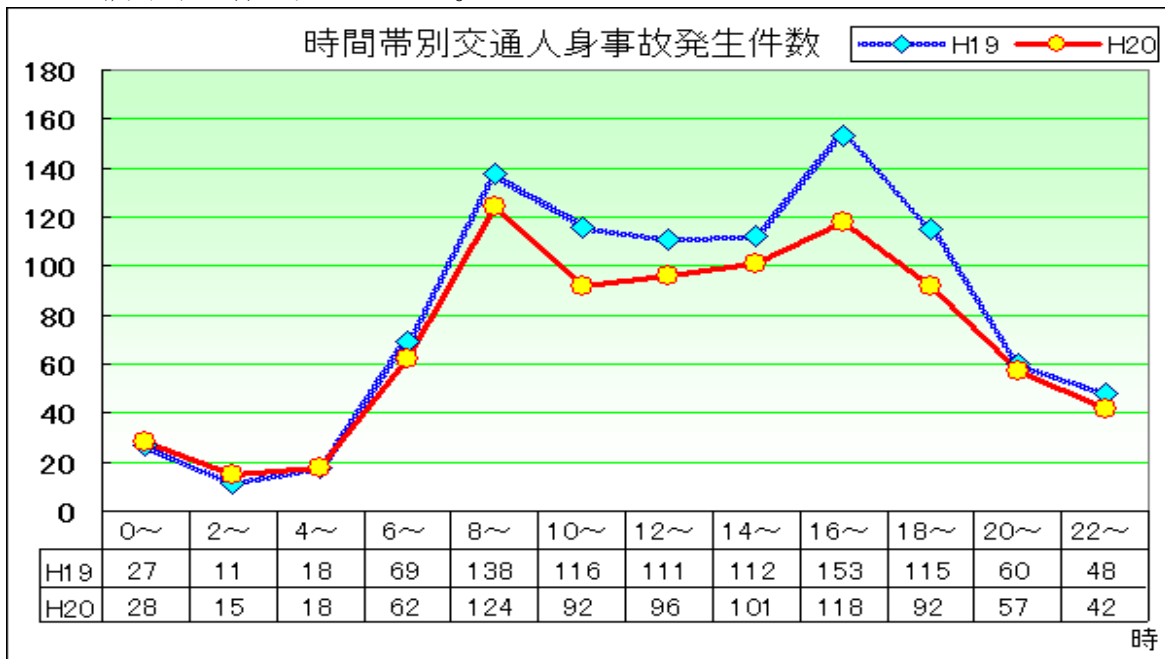
## 警察署別 交通事故発生状況

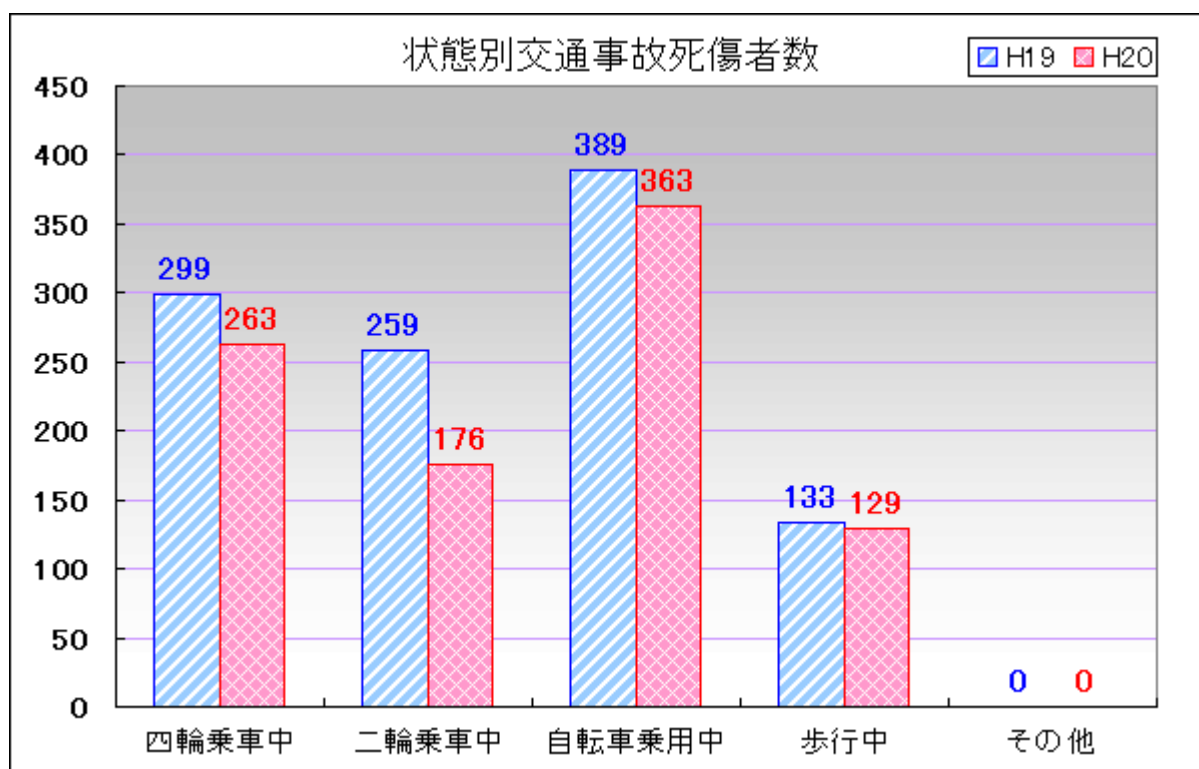
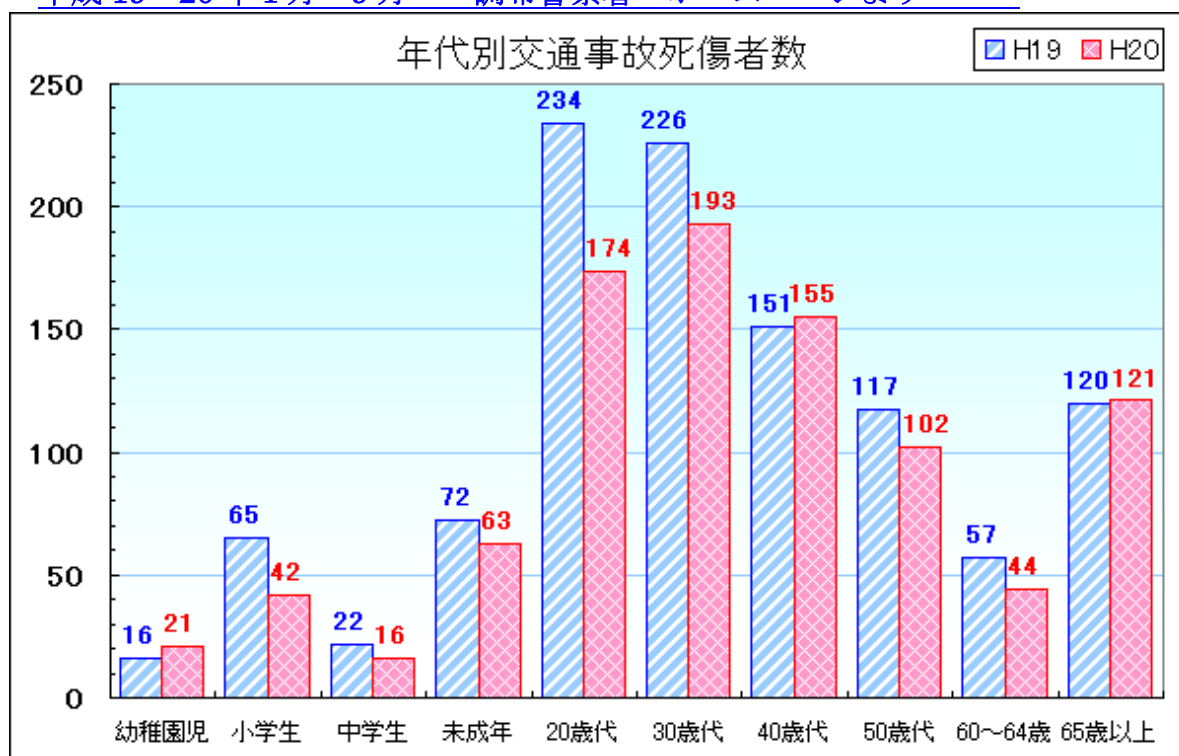
[窃盗犯罪認知状況へ](#)

[警察署一覧ページへ](#)

### 1. 「交通事故対策」について

①交通事故発生状況、多摩川住宅においては死亡事故0という良い状況である。グラフは調布市全体の実態である。

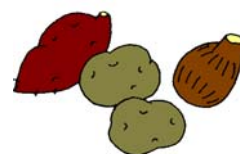




- 調布警察署のホームページによると、8時、16時が最もピーク代に達していることが分かった。
- 年代別死傷者事故は20～30代に特段多く見られている。また、60～64歳を境に65歳以上は増加傾向である。
- 状態別では自転車乗車中が最も多く次に四輪乗車中である。
- ※多摩川住宅では、近年死傷者が出ていないということであるが、気を付けていかなければならないことである。

## 2. 一人暮らし、または留守にした時の対応について日常的に子どもや高齢者、障害を持つ人に対するの関わり合い

- ①一人暮らしの人「サロンタマリバー」ではアンケート調査により本人の承諾を得て、「カギ安心カード」を作成し、希望により鍵の預かりも行っている。また、希望者に、電話コールサービスも実施し喜ばれている。一本の電話からタマリバーに来るようになった例もあり、今後も活動の継続が望まれる。
- ②子ども工作教室、折り紙教室、子どもと高齢者のみなさんが関わりあって良い関係になっている。
- ③七夕の時、子どもがお手伝いをしたり、お祭りの時は売る側にまわって一緒にやった。良いふれ合いの場となった。お月見会の時もお手伝いにまわる子もいた。
- ④防災訓練の時の車椅子訓練の企画は大変良かった。
- ⑤サロンタマリバーでは、車椅子でお二人をお迎えしている。
- ⑥集会室のトイレに「手すり」を設置して使いやすくしている。なお、「暖房便座」の設置も計画している。
- ⑦子ども会では12月に「やきいも大会」、管理組合では「もちつき大会」を予定している。



## 3. 核家族が増える中での子育て、共働きの場合など...

### (1)学童保育に子どもを預けている親の意見

- ① 染地小学校に通うホ号棟の子どもは29名いる。
- ② 共働きが増え、働かなければならない様々な状況があり、学童に預けている親が多い。また、家に帰っても、遊ぶ友だちが少ないこともあり、学童に通いたいことを理由にパートに出掛けている親もいる。
- ③ 児童館は子どもたちの遊び場。学童に通っていない子どもたち(ユーホーと呼ばれる)が遊べる場でもある。
- ④ 染地児童館には、第一、第二学童クラブがあるが、現在児童数多く困難な状態である。市全体で130名程入れない状況にある。調布市の小学校で20校中6校(ホームページ調べでは調布市全体では21ヶ所に学童クラブの設置ある。)が学校内に学童を設置してある。近隣の二小、布田小は学校に学童がある。この状況を受けて、市では染地小の子どもたちはYWCA(杉森学区)に学童保育を、という案が出されている。染地小は耐震改修ができていないことを理由に学校内の学童保育は拒否されている。

しかしながら、あの近辺は人通りも少なく、暗く、物騒なのでとても心配している。また、帰り道と反対方向にある。



染地児童館 玄関



染地児童館への通路

右側は  
八号棟





YWCA の入り口



YWCA の周辺の道路

学童の候補地

(2)お産時やショートステイで子どもを預かって欲しい時など、どのようにしたら良いか困った場合。

①調布市子ども家庭支援センター（国領駅前・ココスクエア・二階）「すこやか」を見学して

調布市子ども家庭支援センター「すこやか」



子育て応援

◆総合相談◆産前、産後支援ヘルパー  
◆エンゼル大学◆ショートステイ◆すこやか保育◆トワイライトステイ◆ファミリー・サポート◆解放広場◆乳幼児交流事業

乳幼児交流事業の内容

- ①親子で一緒にあそびたい。
- ②子育ての情報を知りたい
- ③困った、ちょっと相談したい。
- ④子どもを預けたい行事があると、一日 700 人来ることがある。

- ・都の政策による。各自治体(区市町村)が行う施策として発足。調布市の委託により平成 13 年 4 月 1 日開設。社会福祉事業団が行っている。
- ・フロアが大変広い延べ床面積 1,548㎡。(都の中でも、これだけまとまった施設としては一番とのこと)
- ・出産前より 18 歳までが対象。現在、全都で 57 ヲ所できている。
- ・平成 16 年度より先駆型となった。児童相談所など虐待を受けている児童の相談も受けている。
- ・相談件数、年延べ件数 6,000 件

※しかしながら、保育園は空き待ちが 170 人ほどいる。 調布市全体では保育園が不足しているとのことであった。

開館時間 9:00~17:00

休館日 第三土曜日と翌日曜日・年末年始



受付

ロビー



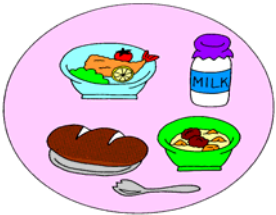
# 「すこやか」の中のように



遊び場



壁面 飾り



保健室



食堂





和室



畳の部屋とテーブル

#### 4. 夜間、土、日の生活を支える社会資源とは・・・

- ①作業着でうろついている人を見かけた。不審者ではないかと交番に届けたら、要注意の人物であった。安心した街づくりが大切と考える。
- ②下校時等、見回り隊などのグループをつくりパトロールをすると良い。その時最低3人は必要である。子ども会ではト号等と交互にパトロールをしている。三中の方まで行く。本当に必要な範囲はニ・ホ・トではないか。散歩のついで、腕章を付けるなどして子供会と別にパトロールするのも一案ではないか。
- ③コンビニエンスの必要性を感じる。  
宅急便、支払い関係、チケットの購入、銀行のATMなど(オールマイティーなので)・・・、色々利用できる。特に災害時など、物資の調達面で心強い。
- ④子育て中の親の意見・・・自然を多く取り入れた遊び場の設置。(危険防止を考慮して、自由に遊べるようにしたい。)

#### 5. 駅と多摩川住宅の関係、生涯教育・医療機関など

- ① 調布市市民プラザ あくろす (西友・二階)・・・生涯教育として  
・施設の利用 (会議室、調理室、パソコンの無料使用など・・・)
- ② 調布カルチャーセンター (ココスクエア・二階)  
・美術コース、書道コース、音楽コース、花・茶道・食のコース、休養・語学コース、健康コース、舞踏コース、趣味・おしゃれ・・・コース、手芸コースなど様々であった。
- ③国領周辺の医療機関  
・ 秋山歯科医院、弘中歯科医院、ウイメンズ・クリニック神野、龍井歯科医院、井上医院、コクティール国年眼科クリニック、都丸メンタルクリニック、コクティールやまうち内科・神経内科、国領浦野皮膚科、国領歯科医院、ぬきいこどもクリニック、国領駅前クリニック、国領ハーモニー皮膚科、国領駅前眼科、松浦歯科クリニック、中村歯科医院、津田整形外科、フルセン歯科、おぎもと内科クリニック、健歯科など現在20件程ある。(マピオン電話帳ホームページより・・・)  
・ そのほかに慈恵医科大学第三病院、多摩川病院がある。

※生活上、これらの動線をつなぐ上でも、国領とのバスの路線を求めることは必須である。